

犯罪のイメージに関する社会心理学的分析 ——一般住宅での犯行に着目して——

軽部 幸浩・石岡 綾香・桐生 正幸

A social psychological analysis of the criminal images

Yukihiro Karube (*Faculty of Sport Science, Nippon Sports Science University, Japan*)

Ayaka Ishioka (*Department of Psychology, Komazawa University, Japan*)

Masayuki Kiriu (*Department of Social Psychology, Toyo University, Japan*)

KEY WORDS: SCIT, Criminal Images, Criminal Psychology

問題と目的

犯罪捜査で活用されているポリグラフ検査とは、生理心理学に基づき構築された心理検査の一つである。この検査の主要な質問方法は、被検査者自身が犯罪行為を犯したか否かを問う直接的質問法と、犯罪に関係した事実についての知識の有無を問う間接的質問法に大別される。前者の「犯罪行為を犯したか否かを問う直接的質問法」は、対照質問法 (control question test : CQT) と呼ばれるもので、主に米国で実施されている質問法である。これは基本的に、自分が犯した犯罪に関する質問に対しては、常に最大の反応が生起するという前提にしたがったものである。後者の「犯罪に関係した事実についての知識の有無を問う間接的質問法」は、秘匿情報検査 (Concealed Information Test : CIT) と呼ばれる方法である。CIT は、犯人でなければ知り得ない犯罪事実に関する質問1項目 (裁決質問) と、それに類似した質問4～6項目 (非裁決質問) によって構成された質問表を用いて検査がおこなわれる。実際の捜査現場における検査結果は、国内外の実験研究で検討され、検出の成績も高く、日本の公判廷では証拠として科学的な評価を得ている (小林・吉本・藤原, 2009)。

現在使用されている生理指標は、皮膚電気活動、呼吸運動、心臓血管系といった自律神経系であり、各質問に対する生理的反応の挙動を比較し判定がおこなわれる。また、近年では、背景脳波や事象関連電位といった中枢神経系による検出方法の確

立をその検出率の高さが実験研究でも確認されている (桐生, 2017)。しかしながら、生理指標についての研究は散見されているものの、質問項目の作成については、未だ客観的分析に基づく研究がなされていない面がある。CIT は、当該犯罪に直接かかわる内容を持つ質問 (裁決質問) と、それと同様のカテゴリーに属するが当該犯罪とは関わりのない内容を持つ複数の質問 (非裁決質問) を順次呈示する。質問項目は、犯人であれば犯罪事実を弁別できるが、無実の者であれば両者を弁別できないように構成されている。原理的に、無実の人間を犯行に関わったと判断されることがないように考えられた質問法といえる (高澤, 2009)。しかしながら、生理指標についての研究は散見しているものの、質問項目の作成については未だ客観的分析に基づく研究がなされていない面がある。

そこで、本研究は、CIT での質問項目作成の手助けとなるための予備的な資料として、重要犯罪と言われる「殺人」、「強盗」、「放火」などについて、どのようなイメージを持っているのかを調査した結果を報告するものである。

方 法

調査期間 2019年5月と10月。

対象者 大学生599名 (男子:296名, 女子:296名, それ以外7名, 平均年齢:18.2歳, SD=0.76) を対象とし、作成した質問紙調査に回答をおこなってもらった。

手続き 本研究の調査協力者には、著者がイン

フォームドコンセントをおこない、研究の趣旨、研究発表の際の匿名性を説明した。その後、得られたデータは研究以外で使用しないこと、何らかの理由により調査協力者が調査を拒否また離脱しても、不利益を被ることはないことを説明した。

倫理審査 著者が所属する組織の倫理審査委員会承認の下に実施された（承認番号：018-H196）。

調査内容 質問紙は、犯罪に対する一般的なイメージを探索的に検討するものである。犯罪（窃盗、殺人、放火）について、一般住宅での犯行をイメージできる内容（窃盗については、「発生時間」、「場所」、「犯行手段」、「被害品」、「犯人像」など。殺人については、「発生時間」、「場所」、「犯行手段」、「凶器」、「殺人以外の犯行」、「犯人像」、「動機」など。放火については、「発生時間」、「発生場所」、「着火場所」、「着火方法」、「犯行道具」、「動機」、「犯人像」など。）について、思いつくまま自由に記述してもらった（軽部・石岡・桐生, 2020）。

なお、それぞれの犯罪に対しての用語は、次のような説明をおこなった。

窃盗とは、「他人の財物をこっそりと盗む」こと。殺人とは、「故意に人の生命を侵害する」こと。放火とは、「故意に建造物などに火をつける行為」のこと。

結果の分析方法 自由記述で得られた内容をKH-Coder3を用いてテキストマイニングをおこなった（樋口, 2020）。なお、データ分析をおこなう際の最小出現回答数は、「10」に設定しておこなった。

結果

共起ネットワーク 犯罪ごとにおける類似性の評価については、最小出現数を10、Jaccard係数0.2以上、強い共起関係ほど濃い線となるように共起ネットワークによる分析をおこなった。なお、共起ネットワークに使える「距離（共起関係edge）」は、Jaccard係数、Cosine係数、Euclid距離を選択することができるが、今回はJaccard係数を使用して分析をおこなった。

図1の「一般住宅での窃盗」は、「窓」を中心に、「家」と「割る」にネットワークが繋がっている。「家」からは「人」「通帳」「昼間」というネットワークが存在し、「割る」には「侵入」「ガラス」「リビング」「寝室」というネットワークの存在が

明らかとなった。この3つのネットワークが1つの大きなネットワークを形成している。他のネットワークについては、2つの語句のまとまりが多く、「ピッキング」「玄関」や「住宅」「高級」、「服」「黒い」、「金」「困る」、「老人」「裏口」といったネットワークの存在が認められた。

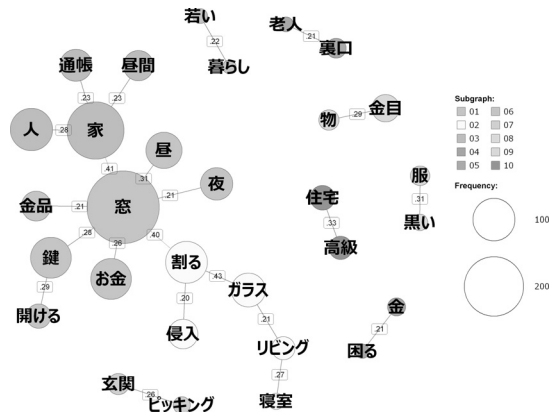


図1 「一般住宅での窃盗」の共起ネットワーク

図2の「一般住宅での殺人」は、「夜」「ナイフ」や「包丁」「刺す」、「恨み」「ある」、「窓」「割る」「ガラス」、「首」「しめる」「ロープ」、「ピンポン」「普通」「入る」、「夫」「妻」、「男性」「女性」と言ったネットワークが存在していた。

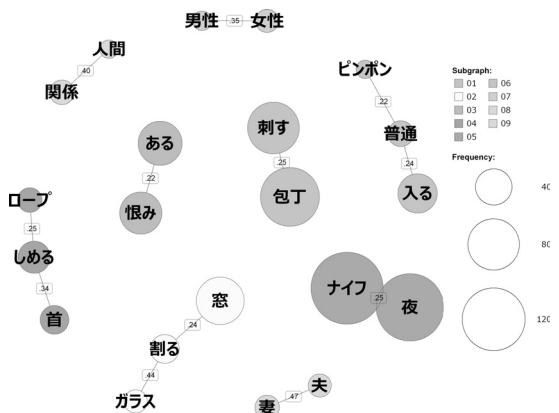


図2 「一般住宅での殺人」の共起ネットワーク

図3の「一般住宅での放火」は、「ライター」「夜」「マッチ」「火」「ガソリン」や「黒い」「服」「マスク」「棒」、「証拠」「消す」、「寝る」「時間」、「火炎瓶」「投げる」、「近所」「トラブル」、「人間」「関係」というネットワークの存在が明らかとなった。

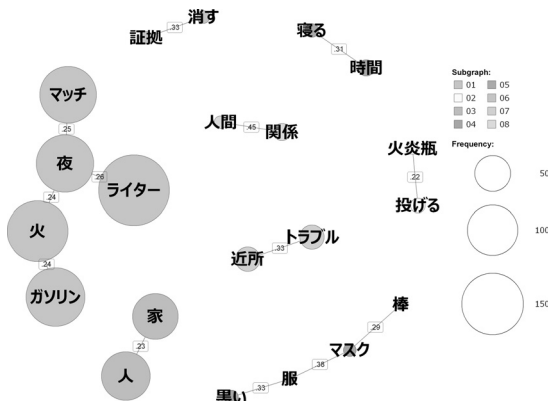


図3 「一般住宅での放火」の共起ネットワーク

今後の検討

小川 (1972) は、その当時、わが国では群化に対する基準表がないので、実験材料を選ぶ場合、実験者の判断によるか、あるいは分類学による辞典、分類語彙表などにより選ばなければならないため、52 カテゴリーに属する語の出現頻度を報告している。このように、ポリグラフ検査をおこなう際にも、質問語句の基準となるカテゴリが必要と

なり、多くの資料を集めデータベース化し、犯罪のイメージに関しての語句をより一層、精査する必要があると考えている。

引用文献

- 樋口耕一 (2020). 社会調査のための計量テキスト分析 —内容分析の継承と発展を目指して— 第2版, ナカニシヤ出版.
- 軽部幸浩・石岡綾香・桐生正幸 (2020). ポリグラフ検査の質問項目に関する研究 —犯罪のイメージに関する社会心理学的分析— 駒澤大学心理学論集, 22, 51-61.
- 桐生正幸 (2017). 日本におけるポリグラフ検査の変遷 —犯罪事実の記憶、隠蔽の意図— 行動科学, 56(1), 31-42.
- 小林孝寛・吉本かおり・藤原修治 (2009). 実務ポリグラフの現状 生理心理学と精神生理学, 27(1), 5-15.
- 小川嗣夫 (1972). 52 カテゴリーに属する語の出現頻度表 人文論究, 22, 1-60
- 高澤則美 (2009) ポリグラフ検査 —日本における検査実務と研究の動向— 生理心理学と精神生理学, 27(1), 1-4.

「一般住宅での窃盗」における語句の出現数

抽出語	品詞	頻度
窓	名詞	299
家	名詞	186
人	名詞	102
割る	動詞	101
お金	名詞	94
鍵	名詞	94
昼	副詞可能	74
ガラス	名詞	65
夜	副詞可能	59
通帳	名詞	58
昼間	副詞可能	51
金品	名詞	49
侵入	サ変名詞	49
ベランダ	名詞	42
金目	名詞	42
一軒家	名詞	36
男性	名詞	35
住宅	名詞	34
開ける	動詞	33
金	人名	32
時間	副詞可能	31
リビング	名詞	30
高級	形容動詞	30
現金	名詞	29
男	名詞	29
入る	動詞	27
開く	動詞	26
高価	形容動詞	26
玄関	名詞	25
宝石	名詞	25
空き巣	名詞	24
ドア	名詞	23

物	名詞	23
裏口	名詞	22
深夜	副詞可能	21
服	名詞	21
留守	サ変名詞	20
マスク	名詞	18
マンション	名詞	18
金	名詞	18
アクセサリー	名詞	16
ピッキング	名詞	16
黒	名詞	15
庭	名詞	15
こっそり	副詞B	14
黒い	形容詞	14
寝室	名詞	14
夕方	副詞可能	14
お昼	副詞可能	13
貴重	形容動詞	13
高い	形容詞	13
仕事	サ変名詞	13
部屋	名詞	13
若い	形容詞	12
老人	名詞	12
こわす	動詞	11
アパート	名詞	11
困る	動詞	11
住人	名詞	11
おじさん	名詞B	10
金持ち	名詞	10
暮らし	名詞	10

「一般住宅での殺人」における語句の出現数

抽出語	品詞	頻度
ナイフ	名詞	159
夜	副詞可能	139
包丁	名詞	106
刺す	動詞	95
玄関	名詞	84
人	名詞	81
殺す	動詞	71
窓	名詞	69
家	名詞	60
恨み	名詞	54
刃物	名詞	49
入る	動詞	47
ドア	名詞	37
恨む	動詞	36
しめる	動詞	31
トラブル	名詞	27
リビング	名詞	27
割る	動詞	25
首	名詞	25
家族	名詞	22
侵入	サ変名詞	22
深夜	副詞可能	21
昼	副詞可能	21
普通	形容動詞	20
ロープ	名詞	18
殴る	動詞	18
関係	サ変名詞	18
妻	名詞	18
殺害	サ変名詞	18
寝室	名詞	18
ほる	動詞	17
ガラス	名詞	16

喧嘩	サ変名詞	16
女性	名詞	16
被害	名詞	16
夫	名詞	16
友人	名詞	16
部屋	名詞	15
男	名詞	13
ひも	名詞B	12
身内	名詞	12
知り合い	名詞	12
浮気	サ変名詞	12
ベランダ	名詞	11
近所	名詞	11
黒	名詞	11
刺殺	サ変名詞	11
子供	名詞	11
少ない	形容詞	11
寝る	動詞	11
男性	名詞	11
知人	名詞	11
鈍器	名詞	11
夫婦	名詞	11
お金	名詞	10
ピンポン	名詞	10
血	名詞	10
殺人	名詞	10
自分	名詞	10
人間	名詞	10
通り魔	名詞	10
毒	名詞	10
薬	名詞	10

「一般住宅での放火」における語句の出現数

抽出語	品詞	頻度
ライター	名詞	198
火	名詞	146
ガソリン	名詞	136
夜	副詞可能	130
マッチ	名詞	127
つける	動詞	108
人	名詞	93
家	名詞	82
まく	動詞	66
恨み	名詞	65
灯油	名詞	47
庭	名詞	45
油	名詞	38
恨む	動詞	30
チャッカマン	名詞	26
タバコ	名詞	23
トラブル	名詞	23
近所	名詞	23
深夜	副詞可能	23
着火	サ変名詞	22
夜間	名詞	22
殺す	動詞	21
昼	副詞可能	21
放火	サ変名詞	19
ゴミ	名詞	18
ガス	名詞	15
男性	名詞	14
玄関	名詞	13
夕方	副詞可能	13
オイル	名詞	11
関係	サ変名詞	11
住宅	名詞	11
燃える	動詞	11
時間	副詞可能	10
草	名詞	10
男	名詞	10
木造	名詞	10